



なほ、  
スズキチ、  
ちんちん、  
味はばすー

# なぜ?なに?を農家さんに聞いたよ!

長門ゆずきちの会 会長 藤井 泰治さん・浜子さんご夫妻



8月15日  
10月15日  
実が黄色い  
実が緑色



長門ユズキチは、カボス  
やスタチ、ユズのように、  
主に果汁をしぼり、それを  
酢として利用する香酸柑  
橘です。実の大きさは、コ  
ルフポールよりやや大きい  
くらい。収穫時期は8月上  
旬から10月下旬。実が黄色  
に色づく前、青々とした濃  
い緑色で、果汁が一番おい  
しいうちに収穫します。

## Q「長門ユズキチ」って どんなもの?いつとれるの??

## Q 県内のどこで 栽培されているの?



萩市田万川に原木の2代目が現存していま  
が、今から250年前には栽培されていたと言わ  
れてます。古くから北浦地域を中心として、庭先  
果樹として栽培されていましたが、近年、苗木が  
田万川から長門市俵山や下関市豊北町にもわり  
たり、味や魅力についても再認識されるようにな  
りました。県内で本格的な栽培が開始され  
たのは、実は数年前からなんです。

長門市では平成10年に「長門ゆずき  
ちの会」が結成され、本格的な栽培がス  
タートしました。平成15年には、萩市・長門  
市・下関市の3産地が連携して「長門ゆ  
ずきち産地連絡協議会」を設置し、技術  
の向上やPR活動に積極的に取り組  
んでいます。



探検隊/長門市立俵山小学校3年生

ほくたけが  
住んでる俵山  
以外でも  
作られて  
いるんだね。

古くから萩市田万川など  
で栽培されていたのです  
が、萩市周辺で栽培されて  
いた「ユズキチ(柚吉・宇樹  
橘)」と同一種と以前は考え  
られていたんです。でも、昭  
和42年ごろにユズキチとは  
別の品種であることが確認  
され、そのときに地名を取り  
入れて「長門ユズキチ」と命  
名したものです。



長門ユズキチは、  
ユズやユズキチとも  
違うんだって!

## Qなぜ 「長門ユズキチ」ってこの名なの??



2-おいしい探検隊【長門ユズキチ】

いろん  
な苦勞を  
して  
育てて  
いるんだね。



などの土づくりをはじめ、初期管  
理をしっかりやらないと、木が太  
りません。また、毎年春と収穫後  
の秋には有機質肥料をやって大事  
に育てています。そのほか、この辺  
りはシカやサル、イノシシの獣害  
も悩みの種。そのため防除柵で畑  
を囲んで長門ユズキチを守って  
います。

## Q育つるときど きと収穫するときは いつとれるの??

まず水はけがよく、日当たりの  
いい畑であること。そして苗木を  
植えるときは、有機質肥料をやる



「長門ユズキチ」は、カボスやスタチの仲間、  
萩市田万川生まれ、  
山口県内のみで栽培されている香酸柑橘です。  
近年本格的に栽培が始まると、  
その味や香りが評判となり、人気はグングン上昇中。  
人気の秘密を探りに、県内の産地・長門市俵山へ  
取材に行ってきました!

# まるやかな酸味と 香りが大評判! こだわりの農産物 「長門ユズキチ」。



おいしい探検隊【長門ユズキチ】-1

なぜ?なに?を  
ズバツと解決!  
おいしい  
探検隊!

